



こもれび新聞

2023年
10月号

連絡先：〒197-0825 東京都あきる野市雨間385-2 電話 042-550-3030 FAX 042-558-0756
発行者：社会福祉法人さくらぎ会・特別養護老人ホーム こもれびの郷・広報委員 <http://www.komorebinosato.or.jp>

社会福祉法人 さくらぎ会創立五十周年



特別養護老人ホームこもれびの郷を運営する社会福祉法人さくらぎ会は、本年創立五十周年を迎えます。

私たちの法人は、昭和四十八年に創立され、翌四十九年に当時の東京都西多摩郡日の出村にさくらぎ保育園を開園しました。当時の日の出村三好野桜木地区は舗装された道も少なくあたり一面がみどりの畑でした。その真ん中に、ほつんと保育園ができたのでした。

そこでは創立者の初代園長・宮林瑛（さとし）と若いスタッフが元氣な子供たちを迎え、毎日賑やかな風景が見られました。

あれから五十年。今では隣接するあきる野市に特別養護老人ホーム、そして同じ平井地区に第2保育園「さくらぎこぱん」を設置し、地域の福祉・子育ての一翼を担っております。そしてお年寄り、子供たちと元氣な毎日を送っております。

これも諸先輩方、素晴らしいスタッフ、そして地域の皆様のご協力のおかげと感謝しております。今後ともさくらぎ会へのご理解ご協力のほどお願いいたします。

※ ※ ※

さくらぎ会の五十周年記念の会を十月末に日の出町のさくらぎ保育園にて行います。式典は、感染症の対策もあり限られた人数で行いますが、初代園長の足跡と合わせて法人のあゆみの展示も合わせて行われます。ご興味ある方はこもれびの郷までお問い合わせください。



賀寿を迎えられた方を藤田施設長が表彰

長寿を祝う会

九月十六日（土）こもれびの郷の「長寿を祝う会」が行われました。今年例年通り3階ホールでの開会を予定していましたが、直前に第9波の到来があり、やむを得ず昨年と同じく各階で行う方式となりました。

当日は施設長が担当スタッフの誘導で各階を回り、節目の年を迎えられた皆様をお尋ねして表彰し、記念品の贈呈を行いました。周りにいらした他の利用者様からも暖かい拍手をいただき、表彰を受けられた方も大変喜ばれておられました。

また、当日のお昼には、栄養士・厨房スタッフが一生懸命準備した特別なお食事が出されました。（栄養士の記事参照）



皆さまのご健康を祈念し乾杯



さくらぎこぱんからは敬老祝カレンダーが届く



対象の方全員にしっかりと向き合いました

また、他の団体からも様々なお祝いをいただきました。今回は百歳を超えられた方もおられました。昨年は市の表彰を受けられた方で、この日をお迎えになったことは、ご本人さまのみならず、スタッフにとっても大きな喜びとなりました。また地元選出の国会議員の先生からもわざわざ丁寧なお手紙を頂戴しましたので、利用者の皆さんに回覧いたしました。

調理室より

栄養士 武田 ゆめ

今年例年稀に見る酷暑でした。朝晩は少しづつ暑さも和らぎ、秋を感じる気候の日もあり季節の移ろいを感じます。秋は、食欲の秋というだけあり旬の食材が美味しい季節です。献立に組み込み、利用者皆様に季節を感じて頂けるようなメニューを考えていきますので、楽しみにお待ちください。けたらと思います。

敬老の日先駆けて九月十六日に施設内で長寿を祝う会が行われました。この日の昼食には、お重に入った見た目にも華やかなお祝い膳をお出ししました。

メニューは季節を感じる松茸ごはん、かき揚げ、柚子味噌焼き、茶わん蒸し、煮しめ、紅白なます、梨、マゼンゴでした。普段のお食事で極きザミ食・ペースト食を召し上がっている利用者の方にも、見た目が常食に近いなめらか食を提供しました。

品数が多く厨房としての準備は大変ですが、直接利用者の方から美味しいとの声も頂けて、とても作りがいを感じました。

今後とも目で見て食べて楽しんでいただけるような献立作りにも励んでいきたいと思っております。



食べ易い「なめらか食」



一般的な「常食」

祝い膳

令和5年度・正職員及びパート募集のお知らせ

早番・夜勤のできる介護職員を募集しております。勤務は週2日以上からで、4日以上で各種保険・賞与等。5日以上で正職員登用。子育て中の主婦の方、転職の方々も活躍されております。資格、経験で優遇あります。

お問合せ先：電話 042-550-3030 / メール info@komorebinosato.or.jp 担当 宮林

特別感染症対策 委員会報告書

こもれびの郷ではケア種別の通常委員会に加えて、褥瘡予防、事故防止・身体拘束廃止、虐待防止などの特別委員会を設けております。今回はその中から特別感染症対策委員会の内容を報告いたします。

九月七日（木）に定例の委員会が開かれました。施設長はじめ各委員が参加し、以下の議題について討議いたしました。

- ① 流行時の振り返り
 - ・ N95マスクの使用方法
 - ・ 昼食時職員休憩の工夫
 - ・ リーダーの役割について
 - ・ 気温が高く職員に脱水の危険
- ② 反省点
 - ・ 対応時の職員の動きを考える
 - ・ 発熱していない利用者への対応
 - ・ 感染時の消毒体制
 - ・ 職員連絡網の活用
 - ・ グリーンゾーンの設定方法

大きな枠組みの部分についての話し合いから、細やかな動きについての具体的な指示まで、かなりのボリュームで話し合いを行うことができました。

今までに何度も、第0波という大きな波を経験してきたことで、およその予測や準備は出来るのですが、都度規模や職員配置も変動するので、今後も特別委員会を通して検討してまいります。

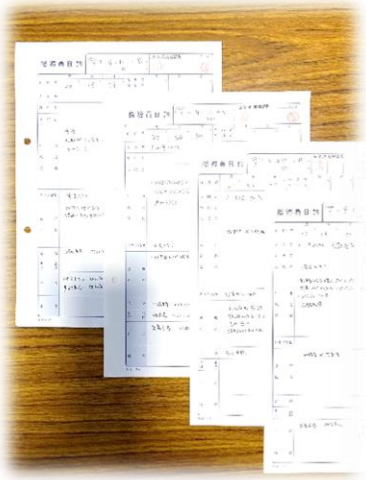
地域防災訓練を予定

十月二十五日にこもれびの郷にて、消防署のご指導のもと災害を想定した防災訓練を行ないます。非常ベルが鳴る等、御迷惑をお掛けいたしますがご容赦下さい。

業務紹介 相談員日誌

こもれびの郷・生活相談室では毎日「相談員日誌」を記入しております。記録の目的は当日の在籍者数の把握、入退所や入院外泊者の氏名確認、当日行事及びレクリエーションの記録、行われた会議委員会記録となっております。開園以来一日も欠かすことなく続けられているこの日誌は、そのまま「こもれびの郷の歴史」ということが出来ます。

急激なスピードで全ての記録類が電子に置き換わっていきませんが、これらを俯瞰する役割を併せ持つこの相談員日誌は未だに手書きで行われております。相談室におけるこの記録の時間は、一字一句に心を込めながらその日を振り返る大事な時間となっております。



書きこまれた情報

お誕生日おめでとう ございます

こもれびの郷では、利用者の皆様のお誕生日の月に、その方に合わせたバースデー企画を行っております。まだまだ外出が難しいですが、工夫をかさねております。



屋上で秋らしい雲と

多り施設散歩の旅

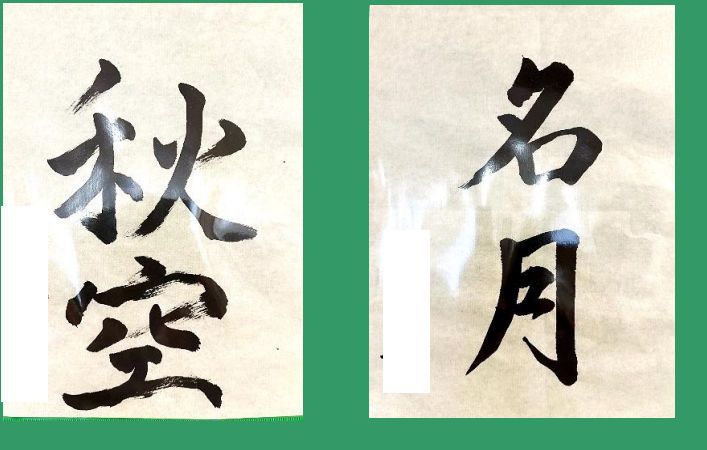
ファイル206 「四季の庭」

こもれびの1階ロビー／談話室は美しい四季の庭に面しております。これは以前のこの地にあった料亭「青春記念館」の中庭がそのまま残っているためです。

小さな滝と池が、あたたかな木漏れ日とあいまって静かで美しい風景を見せています。



今月の芸術家



書道クラブ作品

ボランティニア通信

活動再開の 見通しについて

十月再開を予定してまいりましたが、新型コロナウイルス再流行と例年より早いインフルエンザ流行ため、再開のタイミングが設定できずにおります。

決まり次第「こもれび新聞」、または個別にお知らせしたいと考えております。何卒ご理解の程お願い申し上げます。

俳句川柳クラブ 傑作選

- 地藏盆
京の地藏は
化粧して（渡邊吉氏）
- 秋祭り
神輿担ぎて
笛太鼓（庄司氏）
- 今思う
一息つける
九月かな（松田氏）
- 孫と行く
食事楽しみ
リングゴ狩り（石川氏）
- 秋深し
旦那と共に
ドライブへ（中野氏）
- 秋思う
心が深く
休みどき（水村氏）
- 沖縄や
ブーゲンビリアに
守られし（清水氏）

<10月の行事>

- 1 日 午後入浴有
- 2 月 電気点検、午後入浴無
- 3 火 消毒1・3階
- 4 水 消毒2階
- 5 木
- 6 金 理容の日、茶道クラブ
- 7 土 療法士指導
- 8 日
- 9 月
- 10 火 散歩クラブ
- 11 水
- 12 木
- 13 金 理容の日
- 14 土 療法士指導

- 15 日
- 16 月
- 17 火 茶道クラブ
- 18 水 菓子配達、茶道クラブ
- 19 木 アロマクラブ
- 20 金 理容の日、音楽クラブ
- 21 土 療法士指導
- 22 日 午後入浴有
- 23 月
- 24 火 紙芝居クラブ、中学生来園
- 25 水 総合防災訓練、中学生来園
- 26 木 メール訓練、中学生来園
- 27 金 利用者懇談会、訪問美容
- 28 土 療法士指導

- 29 日
- 30 月 書道クラブ
- 31 火 手芸倶楽部

<11月の行事>

- 1 水
- 2 木 クラブ活動
- 3 金 理容
- 4 土 療法士指導
- 5 日
- 6 月 クラブ活動
- 7 火
- 8 水
- 9 木 クラブ活動
- 10 金 理容

